

第5回 統計教育に関するシンポジウム

統計教育の新しい枠組み ~ 新学習指導要領が目指す統計活用力の育成 ~

主催: 日本統計学会統計教育分科会, 日本統計学会統計教育委員会

科研費基盤研究(A)「データ科学の新領域の開拓 文化財データ解析」(代表: 村上征勝)

科研費基盤研究(B)「教育の情報化・国際化に即応した統計教育とカリキュラムシステムの開発研究」

(代表: 渡辺美智子)

共催: 全国統計教育研究協議会, 全国統計協会連合会, 統計数理研究所(申請中),
数学教育学会

後援: 日本数学教育学会(申請中)

日時: 2008年1月26日(土) 13:30 ~ 17:40

場所: 統計数理研究所 講堂

プログラム

13:30 ~ 14:10 清水美憲 (筑波大学大学院・人間総合科学研究科)
OECD/PISAの結果からみた我が国の教育課程の課題

14:10 ~ 14:50 深沢弘美 (東京医療保健大学)
ニュージーランドの統計教育におけるカリキュラム配置の戦略性

<特別講演>

14:50 ~ 16:40 司会・解説 門間麻紀 (東洋大学)

Gillian Frankcom (President of Auckland Mathematical Association,
Faculty of Education, University of Auckland)

統計教育を実践する学校教師のための教師教育法

Statistics Teaching and Learning: The New Zealand Experience

17:00 ~ 17:40 中西寛子 (成蹊大学経済学部)
統計グラフ作成指導を通じた統計活用力・課題解決力の育成

問い合わせ先

日本統計学会統計教育分科会 事務局

E-mail : sesjss-jim@stat.sci.kagoshima-u.ac.jp

URL : <http://stat.sci.kagoshima-u.ac.jp/SESJSS/active.html>